

未来のNEWクレラップはどんな感じかな?
クలిとクలిミの夢は広がります。

NEWクレラップ TVCM絶賛放映中!!
「この先の進化」編

クలిミ クలి

ほんとだー!

じゃあこのままだと20XX年は...

NEWクレラップは今年で55周年! ずっと進化し続けてるから「NEW」なのよ

自動でクలిッと切れてピタッとくっついちゃうかも!

55周年! ずっとNEW!

夢はふくらむねー!

これが未来のキッチン!?

未来のNEWクレラップ登場!!

NEWクレラップ 検索
<http://kurelife.jp>

当社サイト「キチントさんのクレライフ」では、電子レンジを使った簡単レシピや、おいしくムダなく食品を保存するアイデアなど、今日から使えて、キッチンライフを豊かにする情報をたくさん紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

KUREHA REPORT

クレハレポート

第102期 期末報告書
(2014年4月1日～2015年3月31日)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株式会社クレハ
KUREHA CORPORATION

株式会社クレハ
KUREHA CORPORATION

証券コード: 4023

“パッション(Passion)とスピード(Speed)に コミットメント(Commitment)を加え 「エクセレント・カンパニー」へ挑戦”



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第102期期末（2014年4月1日から2015年3月31日まで）の「クレハレポート」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月

代表取締役社長 **小林 豊**

◆ 当期の概況について

わが国経済は、円安による輸入原材料のコスト上昇による減速懸念があったものの、原油安の継続、消費税増税後の個人消費の回復もみられ、全体としては緩やかな回復基調が続いております。また、世界経済は、欧州の停滞や中国の成長鈍化はあるものの、米国の景気は底堅く推移しており、当社を取り巻く経営環境も改善の兆しが見えてまいりました。

当期の連結売上高は前期比1.4%増の1,501億82百万円、営業利益は前期比22.3%増の145億51百万円、経常利益は前期比26.4%増の154億26百万円、当期純利益は前期比24.9%増の91億95百万円となりました。

◆ 2015年度の運営方針について

今後の世界経済は緩やかな成長を持続し、わが国経済についても、雇用と所得環境の改善傾向が続くなかで、円安、原油価格下落の影響や各種政策の効果により、緩やかな成長が見込まれます。

当社グループは、農業需要の低迷および後発医薬品の伸長などの影響により、厳しい経営環境が予想されますが、2015年度を最終年度とする「中期経営計画Grow Globally-II」に掲げる事業運営を行い、競争優位にある既存事業の収益拡大と改革推進プロジェクト活動によるコスト削減により、2015年度業績予想にある定量目標の達成を図ってまいります。

◆ 改革推進プロジェクトの活動について

社長直轄の全社プロジェクト「改革推進プロジェクト」は発足して2年が経過しましたが、生産・販売、原燃料・設備・機器購買に係るコスト削減とプロセス改良・開発による生産性向上、全社・グループにわたる各種業務の効率化が図られており、当社グループの体質強化のため、今後とも活動を継続し更に改革を進めてまいります。

◆ 「エクセレント・カンパニー」への挑戦

2015年度は収益構造が大きく変化するなか、競争力強化に向けた取り組みを着実に進める年であり、「既存事業の収益拡大および新規事業の確実な立ち上げの遂行」を基本とし、今年度より社内のスローガンに「コミットメント(誓約)」を追加して、従業員一人ひとりが熱い「パッション(情熱)」と「スピード」を持ちコミットする新たな企業風土の創成により、「エクセレント・カンパニー」への挑戦を継続してまいります。

■ 第102期剰余金の配当(期末配当)に関する取締役会決議

当社は剰余金の配当等の決定に関する基本方針を、長期的な成長の実現に向け企業体質の強化および将来の事業展開に備えるとともに、安定的、継続的な配当を実施することとしています。

2015年4月21日開催の当社取締役会において、第102期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)の期末配当は、1株当たり普通配当5.5円に1円の記念配当を加えた1株当たり6.5円とすることを決議いたしました。

1株当たりの配当金 (円)

	99期	100期	101期	102期
中間	5	5	5	5.5
期末	5	5	6	6.5
年間	10	10	11	12

2015年6月24日
東京都中央区日本橋浜町3-3-2

株式会社クレハ

代表取締役社長 小林 豊

第102回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月24日開催の第102回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

報告事項

- 第102期（2014年4月1日から2015年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第102期（2014年4月1日から2015年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

第1号議案 取締役6名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、小林 豊、佐川 正、竹田恆治、馬谷成人の4名が再選、重任し、野田義夫、佐藤通浩の2名が新たに選任、就任いたしました。

第2号議案 監査役2名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、北村 大が再選、重任し、新村浩一が新たに選任、就任いたしました。

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、松尾 眞が再選されました。

第4号議案 取締役に対する賞与支給の件

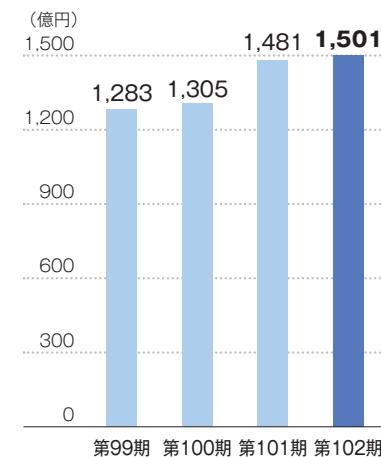
本件は、原案のとおり承認可決され、当期の業績等を勘案し、業績連動賞与として、当期末の取締役6名に対し、総額62,000千円（うち社外取締役2名に対し総額2,600千円）の役員賞与を支給いたします。なお、各取締役に対する配分等の決定は、取締役会にて決議いたします。

連結財務ハイライト

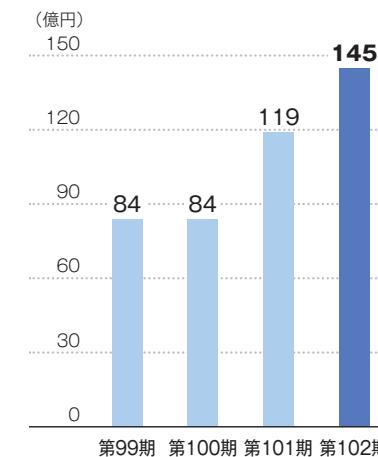
FINANCIAL HIGHLIGHTS

科目	第99期	第100期	第101期	第102期
売上高 (億円)	1,283	1,305	1,481	1,501
営業利益 (億円)	84	84	119	145
経常利益 (億円)	78	65	122	154
当期純利益 (億円)	14	32	73	91
1株当たり当期純利益 (円)	8.5	18.7	42.9	53.5
総資産 (億円)	1,862	2,052	2,244	2,496
純資産 (億円)	885	962	1,061	1,206
1株当たり純資産額 (円)	510.4	546.7	604.0	687.8
自己資本比率 (%)	47.0	45.7	46.2	47.3
自己資本利益率(ROE) (%)	1.7	3.5	7.5	8.3

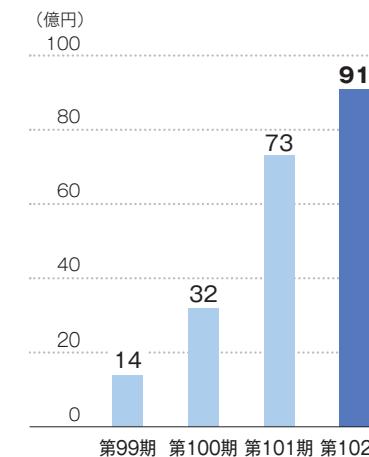
●売上高



●営業利益



●当期純利益



機能製品事業




PPS樹脂成型品 (自動車用途) 炭素繊維 (断熱材用途)

機能樹脂分野

PPS樹脂は自動車用途向けを中心に、ふっ化ビニリデン樹脂はリチウムイオン二次電池用バインダー用途・工業用途向けに、PGA (ポリグリコール酸) 樹脂はシェールガス・オイル掘削用途向けに、それぞれ需要が拡大した結果、機能樹脂分野は増収増益となりました。

炭素製品分野

炭素繊維は太陽電池向けシリコンインゴット製造装置用断熱材の需要が一部で回復傾向にあり、売上げが増加し営業損失は減少しましたが、特殊炭素材料はコストが増加したため、炭素製品分野は売上げが増加しましたが、営業損失は前期並みとなりました。

売上高 **361.8** 億円
(前期比110.3%)

●売上高 ●営業利益 (単位: 億円)

期	売上高	営業利益
101期	328.1	101.0
102期	361.8	104.3

△26.2 4.3

樹脂製品事業




家庭用ラップ「NEWクレラップ」 熱収縮多層フィルム (食品用途)

機能樹脂分野

PPS樹脂は自動車用途向けを中心に、ふっ化ビニリデン樹脂はリチウムイオン二次電池用バインダー用途・工業用途向けに、PGA (ポリグリコール酸) 樹脂はシェールガス・オイル掘削用途向けに、それぞれ需要が拡大した結果、機能樹脂分野は増収増益となりました。

炭素製品分野

炭素繊維は太陽電池向けシリコンインゴット製造装置用断熱材の需要が一部で回復傾向にあり、売上げが増加し営業損失は減少しましたが、特殊炭素材料はコストが増加したため、炭素製品分野は売上げが増加しましたが、営業損失は前期並みとなりました。

売上高 **465.1** 億円
(前期比102.7%)

●売上高 ●営業利益 (単位: 億円)

期	売上高	営業利益
101期	452.9	45.1
102期	465.1	36.6

消費者・グッズ分野

ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げは増加しましたが、家庭用ラップ「NEWクレラップ」は消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動等から売上げが減少するとともに、コストの増加もあり、消費者・グッズ分野は減収減益となりました。

業務用食品包装材分野

熱収縮多層フィルムの売上げは減少しましたが、包装機械の売上げは増加し、業務用食品包装材分野は増収増益となりました。

化学製品事業




慢性腎不全用剤「クレメジン」 農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」

医薬・農薬分野

農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」の北米市場での需要が減少したことに加え、慢性腎不全用剤「クレメジン」等の薬価改定および後発医薬品の伸長等の影響により、医薬・農薬分野の売上げは減少しましたが、医薬品事業における一時金収入により営業利益は増加しました。

工業薬品分野

無機薬品類および有機薬品類の売上げが増加したことにより、工業薬品分野は増収増益となりました。

売上高 **355.3** 億円
(前期比97.1%)

●売上高 ●営業利益 (単位: 億円)

期	売上高	営業利益
101期	366.1	73.4
102期	355.3	79.4

建設関連事業とその他関連事業




災害公営住宅 (クレハ錦建設) 環境事業 (クレハ環境)

建設関連

震災復興関連工事等の公共工事が増加しましたが、プラント建設工事が減少し、建設関連事業は減収増益となりました。

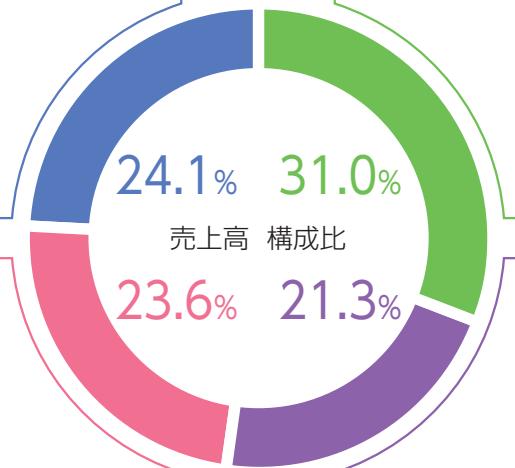
その他関連

環境事業は、環境エンジニアリングが減少したため売上げは減少しましたが、産業廃棄物処理が増加し営業利益は増加しました。運送事業は、輸送業務の減少により、売上げ、営業利益ともに減少しました。これらによりその他関連事業は減収増益となりました。

売上高 **319.3** 億円
(前期比95.6%)

●売上高 ●営業利益 (単位: 億円)

期	売上高	営業利益
101期	334.0	24.5
102期	319.3	28.7



TOPICS トピックス

■ 塩化ビニリデン樹脂の生産設備を増強

1月15日、いわき事業所において、塩化ビニリデン樹脂増強設備の竣工式が行われました。

当日は、内堀雅雄福島県知事をはじめとする行政関係者、プラント建設に従事された工事関係者、また地元関係者など約60名の皆さまにご参列いただき、厳かに竣工式が執り行われました。

当社の塩化ビニリデン樹脂事業は、戦後間もない1949年に研究開発を開始、1950年に錦工場（現いわき事業所）でパイロットプラントが稼働し、塩化ビニリデン樹脂を合成繊維に加工する事業からスタートしました。塩化ビニリデン樹脂は熱に強く、酸素や水蒸気を透過しにくい性質を持つことから、食品を包んで保存する材料として適しており、業務用食品包装フィルム「クレハロン」や家庭用ラップ「NEWクレラップ」の原料として使用されています。今後もアジアを中心に、ソーセージ用包装フィルムや家庭用ラップなどの需要の伸びが見込まれており、新たな生産体制で対応していきます。



塩化ビニリデン樹脂増設プラント



竣工式神事

■ 新研究開発施設「中央研究棟」が完成



中央研究棟

3月19日、生産および研究開発の拠点であるいわき事業所エリア内（福島県いわき市）に建設された中央研究棟の竣工式が行われました。中央研究棟は、既存事業の競争力向上と新規事業の創出に向けた探索研究の充実を図るために設けられた新しい研究開発施設です。

最新機器を備えた実験室や居室は機能的にレイアウトされており、また、各所に配置されたコミュニケーションスペースでは、分野を越えた研究員間での情報交換や生産、エンジニアリング等、他部門とのオープンなディスカッションが繰り広げられています。

異分野間のシナジーを最大限に発揮し、新たな事業の創出に取り組んでまいります。

■ 連結財務諸表(要旨)

FINANCIAL STATEMENTS

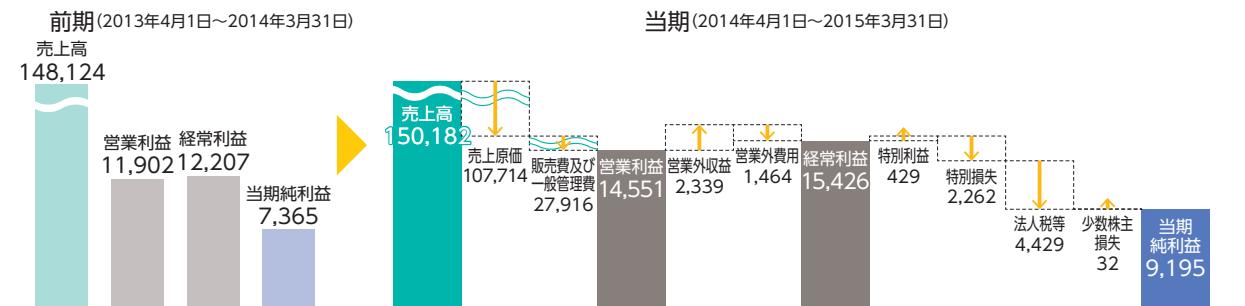
● 財政状態

(単位：百万円)



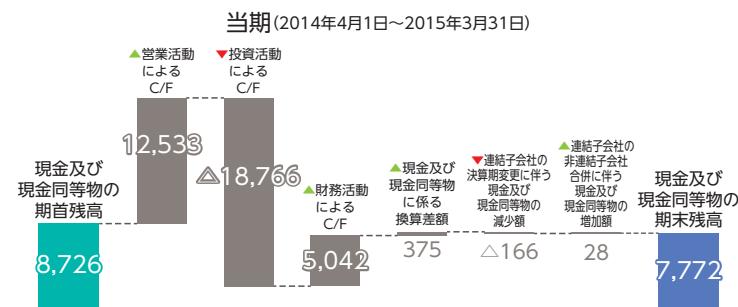
● 経営成績

(単位：百万円)



● キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



① 有形固定資産

いわき事業所での設備投資等が増加しました。

② 投資その他の資産

投資有価証券や出資金が増加しました。

③ 流動負債・固定負債

借入金の増加等により有利子負債が増加しました。

④ その他の包括利益累計額

その他有価証券評価差額金および為替換算調整勘定が増加しました。

● 会社の概要 (2015年3月31日現在)

商号 株式会社クレハ
 英文社名 KUREHA CORPORATION
 本社 東京都中央区日本橋浜町3-3-2
 設立 1944年6月21日
 資本金 12,460百万円
 グループ従業員数 4,123名(単独:1,769名)
 連結対象会社数 38社(連結子会社37社、持分法適用会社1社)
 ホームページ <http://www.kureha.co.jp/>

● 役員 (2015年6月24日現在)

代表取締役社長 小林 豊
 代表取締役専務執行役員 佐川 正
 取締役常務執行役員 野田 義夫
 取締役常務執行役員 佐藤 通浩
 社外取締役 竹田 恒治
 社外取締役 馬谷 成人
 常勤社外監査役 山口 治紀
 常勤監査役 佐藤 光男
 常勤監査役 新村 浩一
 社外監査役 北村 大
 常務執行役員 紫垣 由城
 常務執行役員 福沢 直樹
 執行役員 吉田 徹
 執行役員 塩尻 泰規
 執行役員 田中 宏幸
 執行役員 山田 文彦
 執行役員 名武 克泰
 執行役員 西畑 直光
 執行役員 米澤 哲
 執行役員 並川 昌弘

● 株式の状況 (2015年3月31日現在)

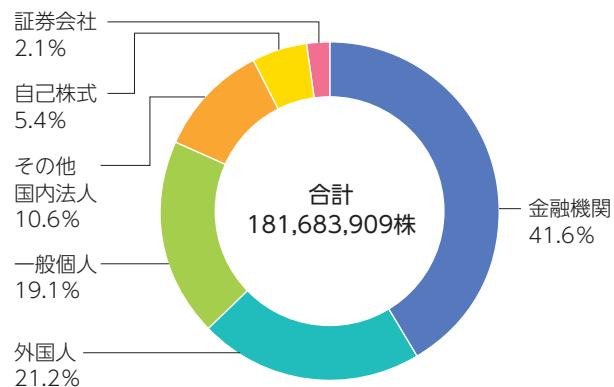
発行可能株式総数 600,000,000株
 発行済株式総数 181,683,909株
 株主数 14,814名

● 大株主の状況 (2015年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	13,746	8.00
東京海上日動火災保険株式会社	8,232	4.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,864	4.00
第一三共株式会社	5,830	3.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,425	3.16
株式会社みずほ銀行	4,000	2.33
野村信託銀行株式会社(投信口)	3,973	2.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,770	1.61
みずほ信託銀行株式会社	2,664	1.55
ピービーエイチピービーエイチティーエスアイイー ノムラ ファアンズ アイルランド ピーエルシー ジャパン ストラテジツ(アイルランド)	2,663	1.55

注) 当社は自己株式9,900千株を保有しておりますが、上記大株主から除いています。
 また持株比率は自己株式を控除して計算しています。

● 株式の所有者別構成比 (2015年3月31日現在)



● 株主メモ ●

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 株主確定基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。

公告方法 当社のWebサイトに掲載します。
 (http://www.kureha.co.jp/ir/stocks/koukoku.html)
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1-2-1
 みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
● 氏名、住所などのご変更 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 配当金の受け取り方法、振込先のご変更	お取引の証券会社にお問い合わせください。	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
● 郵便物の発送・返戻に関するお問い合わせ ● 未払い配当金に関するご照会	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。	
● 特別口座から証券会社口座への振替手続き		

※ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル:0120-288-324 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
 ご来店窓口 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 (未払い配当金に関するご照会については、みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 (みずほ銀行全国本支店でも取扱っています。))

ホームページのご案内 <http://www.kureha.co.jp/>

当社のモノづくりへのこだわりや研究開発戦略、製品情報など様々な情報を掲載しております。また、「株主・投資家情報」では、中期経営計画や業績の概況などについてご説明しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

■ TOPページ



■ 株主・投資家情報



Contents

- 経営方針・戦略
- 財務指標の推移
- 株式情報
- IR資料室
- IRイベント など